

日本港運協会・経営労働委員会として、4月6日（日曜日）の港湾ストライキ実力行使の実施状況を検証するため、引き続き調査を行った。
調査結果は、概要、以下の通り。

港湾ストライキ（平成26年4月6日始業時から24時間）による影響船等の概要

地区	ストによる影響船		左記ストによる影響船の内訳						荷役本船数 (スト対象除外船等)	
			抜港船(※)		前倒し荷役をした本船		翌日(4月7日)以降の荷役本船			
	該当港	本船 隻数	該当港	本船 隻数	該当港	本船 隻数	該当港	本船 隻数	該当港	本船 隻数
東京	東京	13		0		0	東京	13		0
神奈川	横浜、川崎	27	川崎	1	横浜	1	横浜、川崎	25		0
東海	名古屋、清水、四日市、豊橋	12		0		0	名古屋、清水、四日市、豊橋	12	名古屋、清水、四日市、衣浦	13
大阪	大阪、阪南	10		0		0	大阪、阪南	10		0
兵庫県	神戸	10		0		0	神戸	10	神戸	6
九州	関門、博多、下関、苅田	9		0	博多	1	関門、博多、下関	8	下関、苅田	3
北海道		0		0		0		0	小樽、室蘭、苫小牧、釧路	23
東北	仙台塩釜、八戸	5		0	仙台塩釜	2	仙台塩釜、八戸	3	日立、小名浜、仙台塩釜、八戸	9
日本海	直江津	1		0		0	直江津	1	舞鶴、敦賀、七尾、富山、直江津、新潟	8
千葉	千葉	2		0		0	千葉	2		0
中国		0		0		0		0	宇野、広島、徳山下松、三田尻中関	7
四国		0		0		0		0	新居浜、松山	2
沖縄	那覇	1		0		0	那覇	1	那覇	11
計		90		1		4		85		82

※ ストによる影響船の内訳で「抜港船」とは、スト当日に入る予定だった本船の配船を完全に取り止めた本船をいう。